

様式1 令和2年度 清瀬市立清瀬第七小学校 学校評価計画

学校の教育目標	○健康で強い子 ○思いやりのある子 ○よく考える子	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	【育成を目指す資質・能力】 ○健康で強い子…すすんで健康保持増進に努める意欲、基礎的な運動の技能、健康についての知識 ○思いやりのある子…他者の気持ちを理解する力、共感できる力、他者との違いを認める力 ○よく考える子…基礎的な知識・技能、論理的思考力、問題発見・解決能力、自分の思いや考えを豊かに表現する力
目指す学校像(ビジョン)	【目指す学校像】 向学心あふれる学校 保護者、地域と力を合わせて子供を育てる学校 【目指す児童・生徒像】 互いに認め合い、支え合い、高め合う児童 【目指す教師像】 向上心を持ち、自分の指導に誇りをもてる教師	【特色ある教育活動】 ○学校図書館を活用した問題解決能力の育成…調べ学習室の設置、ICT機器の活用促進 ○障害者理解の促進…通常学級と特別支援学級との交流学習、特別支援教室についての情報発信	

前年度までの学校経営上の成果と課題

【成果】○算数の選択授業実施による5、6年生の基礎的・基本的な学力の定着 ○校内研究推進による教師の授業力向上に伴う、児童の学習意欲の向上(理科) ○学校支援本部「ななサポ」および円卓会議「松山DX」立ち上げによる地域連携の促進
【課題】○理数系以外の授業改善による児童の学力向上(問題解決能力の育成) ○体育授業及び運動時間の確保(体力向上) ○特別支援教育のさらなる充実および保護者への啓発促進

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	基礎・基本を重視し、自己実現を進めるために、必要な学力を身に付けさせる。	「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を再認識させるとともに、学びに向かう意欲が高められるような授業を実践する。	校内での研究推進を中心にカリキュラムマネジメントによる継続的な授業改善を行い、児童の学習に対する満足度を高める。	4 教育目標の実現に向けて教科横断的な視点で年間指導計画の作成(全教員で作成) 3 教育目標の実現に向けて教科横断的な視点で年間指導計画の作成(教員の90%以上) 2 教育目標の実現に向けて教科横断的な視点で年間指導計画の作成(教員の80%以上) 1 教育目標の実現に向けて教科横断的な視点で年間指導計画の作成(教員の80%未満)	4 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた(全児童中90%以上) 3 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた(全児童中80%以上) 2 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できた(全児童中70%以上) 1 「学ぶ楽しさ」「わかった、できた喜び」を実感できなかった(全児童中70%未満)
		「学校でなければできないこと」「家庭に持ち帰ってできること」を明確にし、家庭と連携しながら毎日学習する習慣を身に付けさせる。	家庭学習に(学年×10分以上)取り組むよう、内容や分量などを精選する。	4 家庭学習の提供を毎日実施(全学級で実施) 3 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級90%以上) 2 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級80%以上) 1 家庭学習の提供を毎日実施(実施学級80%未満)	4 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(全児童中90%以上) 3 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(全児童中80%以上) 2 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(全児童中70%以上) 1 家庭学習の実施時間(学年×10分以上)達成児童(全児童中70%未満)
豊かな心の育成	学校内外で発揮できる正しい規範意識の形成及び人権感覚をもった児童を育てる。	互いに認め合い、共感し合える関係を築き、人権尊重の精神を培う。	登下校時のあいさつ励行や来客への会釈など、継続的な生活指導の実践を行う。	4 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中90%以上) 3 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中80%以上) 2 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中70%以上) 1 学級における定期的なあいさつ指導の実施(全教員中70%未満)	4 進んであいさつができています児童(90%以上) 3 進んであいさつができています児童(80%以上) 2 進んであいさつができています児童(70%以上) 1 進んであいさつができています児童(70%未満)
		いじめの早期発見・見逃しゼロに向けた対応を行う。	道徳授業、体験的活動を学期に1回以上行い、人権や人とのふれあいに対する意識を高めていく。	4 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(全学級) 3 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(90%以上) 2 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(80%以上) 1 いじめ・人権に関する話し合いや体験的活動の実施(80%未満)	4 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度90%以上 3 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度80%以上 2 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度70%以上 1 保護者の学校によるいじめ・人権に関する取り組みへの満足度70%未満
健やかな体の育成	自己の体力向上や健康維持・増進に取り組む習慣を身に付けさせる。	心と体のバランスも含めた体力・健康に対する意識を高める。	晴れた日の休み時間での外遊びを励行し、朝遊びの時間も活用しながら、児童の体力の向上を図る。	4 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中90%以上) 3 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中80%以上) 2 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中70%以上) 1 学級における外遊び実施児童の割合(全児童中70%未満)	4 体力が向上していると実感できた児童90%以上 3 体力が向上していると実感できた児童80%以上 2 体力が向上していると実感できた児童70%以上 1 体力が向上していると実感できた児童70%未満
		健康的な生活を送るための習慣づくりを図る。	早寝早起き・歯磨き・食事・衛生・新しい生活様式といった健康や食に関する指導を、年間10回以上行う。	4 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の90%以上) 3 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の80%以上) 2 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の70%以上) 1 食育・健康に関する学級指導年間10回以上実施(担任の70%未満)	4 食事や健康について意識的に気をつけている児童90%以上 3 食事や健康について意識的に気をつけている児童80%以上 2 食事や健康について意識的に気をつけている児童70%以上 1 食事や健康について意識的に気をつけている児童70%未満
特別支援教育の充実	特別支援教育に関する教育資源を最大限に活用し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。	障害のある子供と障害のない子供と一緒に活動することで、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むとともに、それぞれの学びにとって適切な活動の場をつくることで教科及び領域のねらいを達成する。	通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習を年間5回以上行う。	4 特別支援学級との交流及び共同学習の実施(年間5回以上) 3 特別支援学級との交流及び共同学習の実施(年間4回以上) 2 特別支援学級との交流及び共同学習の実施(年間3回以上) 1 特別支援学級との交流及び共同学習の実施(年間3回未満)	4 交流及び共同学習に対する肯定的評価(90%以上) 3 交流及び共同学習に対する肯定的評価(80%以上) 2 交流及び共同学習に対する肯定的評価(70%以上) 1 交流及び共同学習に対する肯定的評価(70%未満)
		特別なニーズがある児童に対する指導及び支援を実現する。	個別指導計画を作成し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導目標、内容、方法などを明確にし、指導及び支援を行う。	4 個別指導計画を作成(年間3回以上) 3 個別指導計画を作成(年間2回以上) 2 個別指導計画を作成(年間1回以上) 1 個別指導計画を作成(年間1回未満)	4 特別支援教育に対する肯定的評価(90%以上) 3 特別支援教育に対する肯定的評価(80%以上) 2 特別支援教育に対する肯定的評価(70%以上) 1 特別支援教育に対する肯定的評価(70%未満)
本校の特色	各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力を身に付けさせる。 地域との連携を深め、地域に開かれた学校を実現する。	学校図書館の活用を通じて、児童の問題解決能力を育成する。	週に1回以上、図書室、調べ学習ルーム、ICT機器、市立図書館の蔵書などを活用した授業を行う。	4 週に1回以上実施(全学級で実施) 3 週に1回以上実施(90%以上の学級で実施) 2 週に1回以上実施(80%以上の学級で実施) 1 週に1回以上実施(80%未満の学級で実施)	4 学校図書館の活用により学習理解の高まりを実感できた(全児童中90%以上) 3 学校図書館の活用により学習理解の高まりを実感できた(全児童中80%以上) 2 学校図書館の活用により学習理解の高まりを実感できた(全児童中70%以上) 1 学校図書館の活用により学習理解の高まりを実感できなかった(全児童中70%未満)
		学校情報を地域・保護者に発信積極的に発信する。	ホームページの更新回数を年間300回以上行う。	4 更新が年間300回以上 3 更新が年間250回以上 2 更新が年間200回以上 1 更新が年間200回未満	4 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(90%以上) 3 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(80%以上) 2 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%以上) 1 保護者の情報発信に対しての肯定的評価(70%未満)